

第 26 回内閣府独立行政法人評価等のための有識者懇談会議事要旨

大臣官房政策評価広報課

1. 日 時：令和 3 年 8 月 4 日（水）13:55～15:20
2. 場 所：中央合同庁舎第 8 号館 5 階共用会議室 B
3. 出席委員：田辺座長、石川委員、梅澤委員、千葉委員、牧原委員
4. 議事概要
 - (1) (独) 国立公文書館の令和 2 年度における年度評価案について
(独) 国立公文書館の令和 2 年度における年度評価案について、公文書管理課より説明がなされた。委員からの主な意見やコメントは以下のとおり。
 - ・政府全体の「デジタル化」という大きな目標の中で、国立公文書館についても着々とデジタル化を進めたと思料。
 - ・アーキビスト認証制度については、着実に開始されたことは高く評価する。今後は普及啓発の取組が必要。
 - ・入場者数が減少しているとのことなので、オリジナル商品のオンライン販売等も検討してはいかがか。
 - ・公文書館の展示会をデジタル化・英語で発信すれば、海外からのアクセスが多く見込めると思料。
 - ・コロナ禍の中で、個別の KPI について成果を上げていることを高く評価。
 - (2) (独) 北方領土問題対策協会の令和 2 年度における年度評価案について
(独) 北方領土問題対策協会の令和 2 年度における年度評価案について、北方対策本部より説明がなされた。委員からの主な意見やコメントは以下のとおり。
 - ・SNSを活用した啓発は、若年層に向けた分かりやすいものになっており、引き続き取組を進めるとよい。
 - ・本法人の自己評価を行う上での考え方については、国家安全保障等に係る状況を踏まえて、将来的に考えるべきことともあると思料。
 - ・リスク管理債権比率の実績(1.80%)は一般企業と比べても優秀な数字。
 - ・コロナ禍を踏まえ、大会等の「リアル」な啓発を今後どうしていくのかについて懸念。
 - (3) 事務局から、今後の予定について説明を行った。

以 上

(問合せ先)

内閣府大臣官房政策評価広報課 独立行政法人担当

電話：03-6257-1295